

一般財団法人エンジニアリング協会 地下開発利用研究センター

〒105-0001 東京都港区虎ノ門 3-18-19
(UD 神谷町ビル 10 階)

TEL 03-5405-7203(直通)/FAX 03-5405-8201

ホームページアドレス ; <https://www.ena.or.jp/GEC/>

E-mail アドレス ; gec-adm@ena.or.jp

第 382 号 / 2021.7

Index

- 新理事長就任のお知らせ
- 2021 年度 第 1 回研究企画委員会 開催報告
- 2021 年度 地下利用推進部会の発足
- ENAA 研究成果発表会 2021 開催報告
- 2021 年度 水素インフラ研究会のご紹介

■新理事長就任のお知らせ■



山東理二 新理事長

当協会の理事長は、6 月 30 日付けにて、永松 治夫氏(東洋エンジニアリング(株)代表取締役 取締役社長)から、山東 理二(さんとう まさじ)氏(千代田化工建設(株)代表取締役社長)に交替しました。

今後は新たに山東 理二 新理事長のもとで力を合わせエンジニアリング業界の更なる発展に努力してまいりたいと存じますので、会員各位をはじめ関係の皆様方の一層のご支援ご協力をお願いいたします。

山東 理二 理事長就任のご挨拶は、当協会ホームページに掲載しております。

なお、これまで 2 年間にわたり協会運営に多大なご指導ご尽力をいただきました、永松治夫 前理事長には、当協会理事として引き続きご指導いただきます。

【新理事長挨拶 <https://www.ena.or.jp/about/greeting>】

■ 2021 年度 第 1 回 研究企画委員会開催報告 ■

2021 年度 第 1 回 研究企画委員会が 6 月 21 日(月)に開催されました。

エンジニアリング協会では、今年度より 2 年間、(株)大林組の松本伸様に委員長を、清水建設(株)の佐々木暢彦様に副委員長をお願いしました。また、17 名の委員のうち 6 名の委員交代がありました。

委員長、副委員長の挨拶及び各委員の自己紹介ののち、経済産業省地域産業基盤整備課課長補佐 下館拓章様より来賓のご挨拶がありました。

主な議題は、以下のとおりで、審議事項についてはいずれも承認されました。

1. 2020 年度事業報告(案)及び決算報告(案)について(審議)
 - (1) 2020 年度事業報告書(案)
 - (2) 2020 年度決算報告(案)
2. 2021 年度事業の進捗について(報告)
 - (1) 2021 年度受託事業
 - 1) NEDO「地熱発電技術研究開発／地熱エ

エネルギーの高度利用化に係る技術開発／IoT-AI適用による小規模地熱スマート発電&熱供給の研究開発」(2018年度より2021年5月31日工期, 7月末に報告書提出)

- 2) 国土交通省海事局「浮体式洋上風力発電施設の安全評価手法等の確立のための調査研究」(3月公募において実施者として特定され、コンクリート製浮体式洋上風力発電施設の検査・モニタリング・遠隔監視のためのガイドライン作成に向けた情報収集を担当)

(2) 2021年度自主事業

- 1) 研究企画ワーキンググループ
- 2) 研究会
 - ① 放射性廃棄物研究会
 - ② 地熱発電・熱水活用研究会
 - ③ 計測技術研究会
 - ④ 水素インフラ研究会
 - ⑤ エネルギー関連施設に関する活断層の工学的研究会
- 3) 地下利用推進部会

全体テーマ：

「ポストコロナ時代の環境変化を考慮した地下インフラ再構築に関する調査研究」

4) 地下情報化部会

(3) 地熱プロジェクト推進室の活動

3. 2022年度エンジニアリングに関する調査研究<提案公募>の予定について(報告)
4. その他(研究成果発表会 2021プログラムの紹介他)

次回の第2回研究企画委員会は9月3日(金)に開催する予定です。



研究企画委員会での会議風景

■2021年度 地下利用推進部会の発足 ■

*この事業は、競輪の補助を受けて実施しています。

地下センターの主要な活動の一つである地下利用推進部会は、平成6年度に発足し、基本的に2年ごとに更新して活動を実施してきました。今年度はその更新年にあたり、今後2年間の活動を行う予定です。

2021年度は、「ポストコロナ時代の環境変化を考慮した地下インフラ再構築に関する調査研究」を全体テーマに、賛助会員企業に以下の4部会へ参加公募を実施したところ、26社36名の応募がありました。応募者全員を委員として4部会を編成し、部会ごとに部会長・副部会長を委員の互選によ

り選任し、本年6月初旬に活動を開始しました。

本調査研究では、部会ごとに4つのテーマについて調査し、その取りまとめと提言を行うことを目指します。

また、各部会の部会長・副部会長をメンバーとする地下利用推進部会幹事会(幹事長：金野正一様 大成建設㈱、副幹事長：稲葉薫様 ㈱竹中工務店)を設け、各部会の調整、連絡、検討の深化と取りまとめを行います。

7月5日(月)には、第1回目の幹事会が開催され、2021年度の活動計画及び活動スケジュール

について確認するとともに、各部会長より活動内容に関する意見交換がなされました。

今後は、4つの部会活動を基盤としつつ、全体テーマを軸としたそれぞれの課題に対して、部会の垣

根を超えて報告を取りまとめます。

下記に各部会の調査研究内容及び委員名簿を示します。

<2021 年度 地下利用推進部会> ーポストコロナ時代の環境変化を考慮した地下インフラ再構築に関する調査研究ー ◇幹事会 幹事長： 金野正一 副幹事長： 稲葉 薫 (敬称略)		
部 会 名	調 査 内 容	委 員 名 簿
第1部会 (9社9名)	SDGsとニューノーマルに対応した多様な空間利用のあり方に関する調査研究	部会長：金野正一（大成建設㈱） 副部会長：藤井紀之（応用地質㈱） 委 員：西村 毅（㈱安藤・間） 窪島光志（川崎地質㈱） 森澤哲也（㈱技研製作所） 菅沼優己（㈱竹中土木） 王寺秀介（中央開発㈱） 宇田川湧人（東急建設㈱） 向井孝徳（飛鳥建設㈱）
第2部会 (9社9名)	多様なハザードを想定した地下インフラの機能に関する調査研究	部会長：大森剛志（東電設計㈱） 副部会長：会田和義（佐藤工業㈱） 委 員：松山尚典（応用地質㈱） 丸山祐司（川崎地質㈱） 萩原協仁（基礎地盤コンサルタンツ㈱） 岩竹 要（㈱ダイヤコンサルタント） 佐藤茂美（鉄建建設㈱） 土屋光弘（西松建設㈱） 館澤宣義（日揮㈱）
第3部会 (10社10名)	自動運転、MaaS等に対応した地下のインフラシステムに関する調査研究	部会長：稲葉 薫（㈱竹中工務店） 副部会長：吉川 猛（基礎地盤コンサルタンツ㈱） 委 員：笠 博義（㈱安藤・間） 三石 晋（応用地質㈱） 森田晃司（㈱大林組） 荒木義久（佐藤工業㈱） 上田正人（中央開発㈱） 柳 博文（鉄建建設㈱） 平野孝行（西松建設㈱） 河田浩史（三井住友建設㈱）
第4部会 (8社8名)	社会と環境の変化を踏まえた地下インフラの再構築技術に関する調査研究	部会長：安藤 拓（清水建設㈱） 副部会長：田島新一（鹿島建設㈱） 委 員：本多伸弘（㈱アサノ大成基礎エンジニアリング） 田中義浩（応用地質㈱） 浜田 元（㈱奥村組） 村下富雄（㈱鴻池組） 田中 孝（戸田建設㈱） 久慈雅栄（前田建設工業㈱）

■ ENAA 研究成果発表会 2021 開催報告 ■

当協会の昨年度研究成果の報告会が、2日間にわたり、オンラインで開催され、地下センターの発表は、7月7日（水）の午後に行われました。

田中所長の挨拶に始まり、自主事業、受託事業、補助事業の8調査研究、計11セッションの発表は、視聴者が延べ700人を超え、オンラインなら

ではのアクセス性の良さが発揮されました。

各セッションで説明いただきました講師の方々、並びに聴講いただきました皆様に、厚く御礼申し上げます。資料は以下よりダウンロードできます。

【成果発表会

<https://www.ena.or.jp/seminar/50062>（会員限定）】

■ 2021 年度 水素インフラ研究会のご紹介 ■

地下センターの自主研究の一つである「水素インフラ研究会」について、以下に紹介します。

1. 活動方針

将来の水素大量利用時代に向けて、現地調査を通じて、最新の水素製造技術、水素利用技術、水素発電技術など「水素インフラ」に関する最新情報を収集し、調査研究を行っています。

2. 活動概要

- ・ 2015 年度からの 4 年間は「水素輸送・貯蔵研究会」の名称で調査研究活動を実施しました。この成果は、地下センターのホームページ (https://www.ena.or.jp/gec/report_doc) に平成 30 年度水素輸送・貯蔵研究会報告書として公開しています。
- ・ 2019 年度から「水素インフラ研究会」に改称し、国の政策動向も見ながら、水素の製造技術、輸送・貯蔵技術、水素利用技術、水素発電技術等に関する情報収集を継続して行っています。

近年の現地調査及び講演会の活動実績は下表のとおりです。

〔現地調査〕

プロジェクト名称など	プロジェクト概要
周南市プロジェクト(環境省)	苛性ソーダ由来の未利用な高純度副生水素を活用した地産地消・地域関連連携モデル構築(2019年度)
神戸ポートアイランド(NEDO)	水素CGS活用スマートコミュニティ技術開発事業(2019年度)
郡山市	建物付帯型水素エネルギー利用システム「Hydro Q-BiC & FREA」実証事業(2019年度)
昭和電工プロジェクト(環境省)	使用済プラスチック由来低炭素水素を活用した地域循環型水素地産地消モデル実証事業(2019年度)
京浜臨海プロジェクト(環境省)	京浜臨海部での燃料電池フォークリフト導入とクリーン水素活用モデル構築実証(2020年度)
富谷市プロジェクト(環境省)	富谷市における既存物流網と純水素燃料電池を活用した低炭素水素サプライチェーン実証事業(2020年度)

〔講演〕

講演者氏名	講演タイトル
坂田興氏(エネルギー総合工学研究所)	水素エネルギーシステムの大量導入の意義と主要国の政策(2020年度)

3. 研究会委員

委員長：酒井佳人 大成建設(株)

委員：郡司 清 (株)安藤・間、 遠藤 司 応用地質(株)、 沖 誠一 (株)大林組、
山田岳峰 鹿島建設(株)、 村橋健一 (株)熊谷組、 小笠原貴道 (株)鴻池組、
若林雅樹 清水建設(株)、 若濱 洋 (株)ダイヤコンサルタント

オブザーバ：手島賢治 (株)コスモテック、濱砂幸司 (株)コスモテック (以上、10 社 11 名)